



恐れるな。そして、僕から離れるな。

白痴

世界は廃虚になろうとしていた。 '99 ヴェネチア国際映画祭正式招待作品
 脚本・監督 手塚真 主演 浅野忠信

甲田益也子 橋本麗香 草刈正雄
 藤村俊二 江波杏子 松岡俊介 あんじ 岡田真澄 伊武雅刀 泉谷しげる 櫻田宗久 小野みゆき 荒井紀人 川村かおり 原田芳雄
 原作 坂口安吾 企画・製作 松谷孝征 プロデューサー 古澤敏文 撮影 藤澤順一 照明 安河内央之 音楽 橋本一子 録音 浦田和治 音響効果 柴崎憲治 美術 磯見俊裕 セットデザイナー 花谷秀文
 絵画 恒松正敏 衣裳デザイン 伊藤佐智子 ヘア・メイクアップ監督 拓植伊佐夫 製作 株式会社手塚プロダクション 製作協力 松竹/ふぉーじょんぶろだくと/パングダイジュアル 配給 松竹

オリジナルサウンドトラック ビクターエンタテインメント <http://www.neontetra.co.jp/hakuchi/> M 映倫 R-15

手塚眞監督・浅野忠信最新作

白痴

坂口安吾×手塚眞＝“白痴”

全ての映画的常識が今、覆されようとしている?!

戦後の無頼派作家・坂口安吾と、今を駆けるデジタル時代の寵児・手塚眞。決して交錯することのないふたつの才能は、時代を超えてめぐり会った。

戦争が続き、荒廃した世界には、貧困と自堕落な路地裏の世界と、情報化社会が産み出すファシズムと虚飾の世界が横たわる。その隙間に住む、純粋で孤独な青年・伊沢。彼のもとに隣家の人妻サヨが住みついた。安らぎの日は束の間、彼らの街にも空襲が訪れる。業火に逃げ惑いながら、伊沢が云う、「恐れるな。そして、僕から離れるな…」。

監督・手塚眞は、“安吾の世界”に忠実であるとともに、この世紀末の不安や虚無感と超現実へのリンクに成功している。全ての日常が突き崩され、極限状態の中で見出した“愛の絆”こそが、未来への架け橋、新生への第一歩となるだろう。

浅野忠信の新たな魅力と、彼を支える個性的なキャスト。

主人公の伊沢を演じるのは、今や日本を代表する若手俳優に成長し、今後も『地雷を踏んだらサウナラ』『御法度』と、話題作が待機する浅野忠信。戦中の孤独や不安の中で愛を見つけていく伊沢を優しく、リアルに演じ、その存在に浅野ファンならずとも魅了される。

無垢さと神秘性が印象的なサヨ役には、カリスマ的モデルでミュージシャンの甲田益也子。危うさを内包した超アイドル銀河には、本作が映画デビューとなる橋本麗香。また、草刈正雄、江波杏子、藤村俊二、原田芳雄、あんじ、松岡俊介など、個性あふれる豪華なキャスティングが映画に彩りを与えている。

破壊! 瞬時に爆裂する都市。

“超現実”美に奇才アーティストが挑む。

斜めに傾いた長屋が並ぶ超現実的な路地裏を這うように移動するオープニングのカメラワーク…。主人公・伊沢の住む街は、新潟市の信濃川河口に15000㎡のセットとして再現された。

幻想的なインテリアは、絵画、音楽と幅広く活躍する恒松正敏。音楽は、ピアニスト、作曲家、作家とマルチに活躍する橋本一子。衣裳は、舞台やコンサートなどを手掛ける伊藤佐智子。宣伝美術には写真家の上田義彦とアートディレクターの小林良弘など、映画界の枠を超えた各界の第一線で活躍する才能が結集し、手塚ワールドに奥行きを与えている。

ラストシーンでは、この広大な架空都市が、鳴り響く爆音、巨大な火柱とともに、一瞬にして消失する。全てを焼き尽くす炎…。その迫力と映像の美しさは、見る者を恍惚とさせ、やがて感動へと導いてゆく。この世界を感動として受け入れるか、それとも拒絶するか。世紀のリセットを前に、手塚眞の挑発は、全世界を駆けめぐるようとしている。

浅野忠信 甲田益也子 橋本麗香 草刈正雄 藤村俊二 江波杏子 あんじ 松岡俊介 原田芳雄

原作 坂口安吾 脚本・監督 手塚眞

企画・製作 松谷孝征 プロデューサー 古澤敏文 撮影 藤澤順一 照明 安河内央之 録音 浦田和治 美術 磯見俊裕

セットデザイナー 花谷秀文 衣裳デザイン 伊藤佐智子 ヘア・メイクアップ監督 柘植伊佐夫 絵画 恒松正敏 音楽 橋本一子
1999年/日本映画/カラー作品/ヴィスタサイズ/DTSデジタルサウンド/146分 <http://www.neontetra.co.jp/hakuchi/>



近日ロードショー!

前売鑑賞券絶賛発売中! 一般1,500円(当日一般1,800円の処)

※劇場窓口、チケットぴあ、ローソン他、主要PGにてお求め下さい。

各回入替制/途中入場はお控え下さい。

(上映日程および時間は) 劇場にお問合せ下さい)

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977

梅田ガーデンシネマ

